

気功の教科書

岸陽伸

まえがき

こんにちは、岸陽伸です。

人間には人生の節目があり、トラブルを抱えることとなります。

トラブルを未然に防ぐ、または人生のイベントで成功するためには、気功が必要です。

また、幼児期と老齢期には病気になりやすく、また若者は人間関係のトラブルに遭いやすくなります。

また、恋愛では、出会い、デート、結婚、子育てとイベントが続きます。

理想的な家族生活をつづけるためには、愛情を持続できるかがカギとなってきます。

病気となるのは常日頃からリスクがあります。

熱中症などで倒れた時も専門の治療法が気功にはありません。

目次

第1章：精神面に対する気功

第2章：身体に関する気功

第3章：人生を動かす気功

第4章：先天の気

第5章：後天の気

第6章：秘伝の気

第7章：被りについて

第8章：判断に関する気功

第9章：魔境について

第10章：医療気功

第1章 精神面に対する気功

人間は主に食べ物から元気を得ていますが、インターネットなどの情報からも気を得ることがあります。

それは、ニュース、エンタメ、エロなどです。

スポーツなどで運動すると元気になるのは、気のメンタルレベルが上がるためです。

気のメンタルレベルとは、気の精神的な高揚感の度合いです。

気のメンタルレベルは1～10あります。

0が睡眠などで意識がない時、気絶中などです。

5がスポーツの軽いもの、卓球などです。

10がサッカーのプレイヤーや、強い怒り、興奮などです。

高揚感とは、感情の高まりを指し、決して、ポジティブ、ネガティブを問うものではないことを注意してください。

精神面に対する気功とは、この気のメンタルレベルを一定の安定状態に保って、冷静な判断と元気を維持することです。

気功の手順は、ラポール、エンター、チェックの3段階に分かれます。

ラポールとは、まず相手の気のメンタルレベルをはかり、相手の意図を確認します。

例えば、静かにしたいときは、メンタルレベルの目標を0～3に設定し、楽しくなりたい時などは、4～7、スポーツなどで活動したいときは8～10に設定します。

メンタルレベルは、様々な技術で上げていくことが可能です。

先天の気とは動画の情報のことを指し、複雑な波で人間の動きを活発化します。

後天の気とは言葉のことを指し、ニュースの情報でも気を取り入れることができます。

秘伝の気とは、音声のことを指し、単純な波です。

チェックとは、メンタルレベルが目標になったことを確認してエンターを終了することです。

動画や音声、言葉は、本というよりは、宇宙の概念と場の、情報場から取った方が良いでしょう。

第2章 身体に対する気功

人間には本能があり、生命を維持しています。

生物として、摂取、代謝、排泄を繰り返しています。

人間には細胞があり、栄養を貯蔵しておけます。

代謝とは、身体の中の化学反応です。

排泄で、不要になった毒素を廃棄しています。

栄養を合成する気功があるということです。

熱が栄養になるということです。

熱を送るには、気のかたまりを送る必要があり、形によって様々な効果をもたらします。

三角形だと、性感帯に熱エネルギーを送ることになります。

円形だと、細胞に熱エネルギーを送ることになります。

球形だと、筋肉に熱エネルギーを送ることになります。

熱エネルギーは、人間の生命活動を、維持、増幅します。

核とは、DNAを保存する器官のことで、ミトコンドリアとは、細胞の死期を決めるプログラムのことです。

寿命が縦で、年齢の素が伸びきると、細胞が壊死します。

摂取にあたるのは、三角形の気のかたまりで、性感帯に熱エネルギーを送ることで（円形の気のかたまりをおくること）、代謝します。

球形の気のかたまりで、排泄をおこなうことになります。

三角形の気のかたまりは、矩形波という四角い波で、性感帯を刺激します。

円形の気のかたまりは、三角波とって、細胞に熱エネルギーを送ります。

球形の気のかたまりは、鋸歯状歯とって、排泄に関わります。

3章 人生を動かす気功

人生を動かす気功とは、主に5大

(Reader,COACHING,HEALING,EDUCATION,BUSINESSES,CONSULTING,Reliver) があります。

上と下の波があります。

コーチングとは、上だけの波です。

ヒーリングとは、下だけの波です。

EDUCATIONとは、上下合わせた波です。

BUSINESSESとは、上の波に下の波が凸した形の波です。

CONSULTINGとは、下の波に上の波が凸した形の波です。

Readerとは、球形の波です。

Reliverとは、点だけの波です。

波は混ぜると危険で、進めていくことが大切です。

Reader、Reliverは五芒星の上にReader、下にReliverがあり、五芒星は上から、コーチング、エデュケーション、ビ

ジネスイズ、コンサルティング、ヒーリングと右回りに書きます。

五行はそれぞれ、相生するか相克して波が進みReader、Reliverは相生（満たして気を動かす）すると、進みます。

つまり、3重に波が進むということです。

人生を動かす気功は、止まっている箇所を相生する気か相克する気を送ることです。

Readerと、Reliverは、相生するしかありません。

相克する場合は、相侮（強すぎて相手が勝つ）の反射の現象、相剰（弱すぎて相手が勝つ）の停滞の現象に気を付けてください。

相生する場合も、比和（強すぎて壊れる）現象に気をつけてください。

コーチングが強すぎると、コーチング、またはヒーリングが返ってくる現象が起こりますが、ヒーリングが強すぎると、ヒーリング、またはコーチングが返ってくる現象が起こります。

正常な波の進行が大切だということです。

第4章 先天の気

先天の気は、目的を達成するために必要になります。

先天の気は、自分の人生を生きる上で、大切になります。

インターネットなどの外部要因に左右されないためには、先天の気を補充することが必要になります。

先天の気に満ちた身体にするためには、まずは食事、睡眠、そして気功が必要になります。

食事を摂ると、原子を摂ることになり、身体が多く稼働することになります。

化学反応を行うと同時に、身体を休ませるのが睡眠の役割ですが、寝てる間に宇宙と気の交流をして浄化が行われます。

津液は、津が水から、液がたんぱく質などの栄養からできるので、なるべく合成していない水や栄養を摂るのが先天の気の視点から視ると良いことになります。

先天の気の本質とは、身体を稼働させるエネルギーです。

つまり、夢やゴール、音楽などを含むのです。

つまり、意識や自我にとって、身体を稼働させるエネルギーになるのです。

第5章 後天の気

後天の気とは、コアに合致する気のことを指します。簡単にいうと、ヒーリングorコーチングの気のことです。

コアから反応した波は、反応した波のフィードバック調整という現象によって、コアの動きを止めてしまいます。

コアからの反応波に交差する波を、人に送ると、後天の気になります。これを、交差波といいます。

思春期になると、後天の気が少なくなるのは、自慰行為をして、コアの波を増幅して、反射波も大きくなるからです。

つまり、自分と違う揺れ方=自我で自慰行為をした方が良いのです。

もともと性的対象でない人は、自分を傷つける波の可能性ががあります。

第6章 秘伝の気

秘伝の気とは、波でいうと、反位相です。

開始地点を同じにし、90度回転した波なのです。

つまり、波と同時に計算しながら流すのです。

90度回転した、2倍の大きさの波を流すのです。

第7章 被りについて

赤と青のものをめいそうすると、+のものと-のものがお互いに引き合い、正弦波を生む現象が起こります。

この現象を、大周天と呼びます。

汚い情報のことを、邪気といいます。

サイキックアタックとは、ネガティブな気功のことを言います。

結界とは、自分の好きな情報を出し続けることです。

波の同調現象により、気の球の四隅の内側だけに気が満ちます（結界が貼られます）。

個人の夢をを応援するためには、周囲の人の成功を気功で応援してあげる必要があります。

これを、ギャザリングサクセス（一緒に成功する）といいます。

気功でギャザリングサクセスを達成するためには、ステージ=本当の自分のレベル=ホメオスタシスのレベルを相手に送ってあげることです。

つまり、岸陽伸なら、本当の自分のレベル（例えば、教科書を書く本当の自分のレベル）を相手に送ってあげるのです。

サイキックアタックを受けないためには、24時間大周天するしかありません。

第8章 判断に関する気功

判断に関する気功とは、事件・事故に遭わないようにする気功のことです。

つまり、24時間365日、クライアントが事件・事故にあわないようにするために、気功で安全にし続けるのです。

そのためには、クライアントの注意、行動、関係性に気功で介入することが必要です。

そのためには、合っているエスカレーターを、自分で観て判断してもらうよう、コーチングのエネルギーを送ることが必要です。

行動に介入するには、クライアントの自己責任で運転するため、気功師は、ヒーリングのエネルギーを送るだけになります。

関係性に介入するためには、コンサルティングのエネルギーを送ります。

第9章 魔境について

魔境とは、気をせき止められることで、発生する現象のことです。

普通なら、次やることが分かるものです。

せき止めているものを発見するためには、ソナーのような波を出し、情報空間でせき止めているものを発見することです。

それにヒーリングすればOKです。

第10章 医療気功について

のぼせ、熱中症、食べ過ぎなどの日常病には、人間の陰陽五行とReader、Reliverに対応するものを、相生させるか、相克するしかありません。

Readerに対応するのは脳です。

Reliverに対応するのは性です。

コーチングに対応するのは運動です。

ヒーリングに対応するのは内蔵です。

エデュケーションに対応するのは体温です。

ビジネスイズに対応するのは血液です。

コンサルティングに対応するのは骨です。

ガンになる理由は、邪気によるもので、浄化とその排泄を助ければOKです。